

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年5月31日
事業者名:	飛騨高山森林組合

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	“植えて～育てて～伐って～使って～また植える”循環型林業で持続可能な森林を育成しております。また、管理の遅れている森林では所有者へ積極的に呼びかけを行うことで間伐などの適正な手入れを行っています。収穫時期を迎えた森林を計画的に伐採し、原木土場に集積され、加工センターにて建築材、土木資材の加工や販売流通を行っている6次産業化に取り組んでいます。森林サービス推進室を創設し、地域の豊かな森林空間を健康や教育などの多様な分野で活用を目指しています。	⑪住み続けられるまちづくりを、⑬気候変動に具体的な対策を、⑮森の豊かさを守ろう	2023年度植栽事業 実績面積 8.6 ha	指標	二酸化炭素の吸収、固定量
				目標	2030年までに2023年度比120%の固定を達成
社会	○県外の修学旅行の林業体験 ○市内小中学校への出前林業教室 ○地域イベントでの間伐丸太切り体験 ○インターシップ受入 など	⑭海の豊かさを守ろう	2023年度 ①林業体験、森林教室 5件 ②地域イベント体験教室 5件 ③インターシップ受入 2名	指標	①林業体験、森林教室 実施回数 ②地域イベント体験教室 実施回数 ③インターシップ受入れ人数
				目標	①年5回以上の実施 ②年5回以上の実施 ③年2名以上受入
経済	管理の遅れている森林では所有者へ積極的に呼びかけを行うことで間伐などの適正な手入れを行っています。収穫時期を迎えた森林を計画的に伐採し、原木土場に集積され、加工センターにて建築材、土木資材の加工や販売流通を行っている6次産業化に取り組んでいます。	⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	原木希望表を作成し、製材工場で加工する必要な規格の原木を自給自足。R5年度需要分の60%供給	指標	原木を自給自足で供給
				目標	2030年までに自給自足率を80%以上を目標
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 月例の幹部会にて、事業進捗率、収支報告等を行い毎月1日の安全会議にて働くすべてのものに情報を共有。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 組合事務所掲示板にて「SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書(様式第2号)」を掲示			